

令和3年度 高千穂町立岩戸小学校評価書

(4段階評価 : 4 期待以上 3 ほぼ期待通り 2 やや期待を下回る 1 改善を要する)

評価項目	評価指標	具体的数値目標	方策・手立て	自己評定		結果の考察・分析及び改善策等	学校関係者評価コメント	
				指標	総合			
【重点目標】 ○ 基礎的・基本的な知識・技能の習得、活用を通した表現力の育成								
知 づ く り	1 研究授業の計画的実施による授業力の向上	○ 授業力向上に関するアンケートの達成度が80%以上	<ul style="list-style-type: none"> 考える場やグループ・全体での話し合いの場を設定する。 振り返りの時間を定着させ、応用問題に取り組ませる。 	4		<ul style="list-style-type: none"> 学校支援訪問と要請訪問の2回の訪問を受け、指導主事による授業参観とフィードバックにより各教師の学習指導力向上と共に児童の学力アップが図られた。 朝の時間を利用した「Web単元」や「見届の日」の実施により既習内容の確認や個別指導等が図られ、基礎・基本の学習内容が定着した。 	<ul style="list-style-type: none"> 社会情勢の変化の中、タブレット端末の活用や学習指導の難しさなど大変だらうと思う。 タブレットを使用した新たな学習に期待したい。 SNS等の情報モラルの他にICTの負の部分も児童に教えて欲しい。 読書量について、読む児童と読まない児童の二極化が見られる。歴史やスポーツ等学習に関するものについては、マンガの本を図書として揃えると図書館利用につながる。 	
	2 児童の基礎的・基本的な知識・技能の習得	○ 基礎的・基本的な知識・技能に関するアンケートの達成度が80%以上	<ul style="list-style-type: none"> 個別的な指導を充実させたり繰り返しの学習をさせたりするなどして基礎・基本の学習の定着を図る。 	4		<ul style="list-style-type: none"> 学校支援訪問と要請訪問でタブレット端末を活用した授業を実施し、研究を深めることができた。 		
	3 一人1台タブレット端末を活用した授業実践研究	○ タブレット端末を活用した授業実践が80%以上	<ul style="list-style-type: none"> 学校支援訪問や要請訪問での参観授業において、タブレットを活用した実践を図る。 	4	3	<ul style="list-style-type: none"> 家庭学習のめあてやテレビの視聴時間の設定、参観日での家庭学習ノート展示等により、児童や保護者の家庭学習に対する意識を高めることができた。 		
	4 家庭との連携による家庭学習の定着と内容の充実	○ 家庭学習に関するアンケートの達成度が80%以上	<ul style="list-style-type: none"> 「家庭学習がんばり週間」での取組の充実を図る。 参観日における学習ノートの展示による意欲の向上を図る。 	3				
	図書教育	5 読書タイムの計画的な実施と充実	<ul style="list-style-type: none"> 読み聞かせを計画し、児童の読書意欲を高める。 各学年の児童のニーズに合った蔵書の充実を図る。 	3		<ul style="list-style-type: none"> 読書時間の設定、ボランティア団体「がらがらどん」や職員による読み聞かせ、県・町立図書館蔵書借用による図書の充実により読書意欲を高めることができた。 		
【重点目標】 ○ 基本的な生活習慣の確立と思いやりの心や正しい判断力を育てる指導の充実								
生活づくり・心づくり	基本的生活習慣	1 継続的なあいさつ指導の徹底	○ あいさつに関するアンケートの達成度が80%以上	<ul style="list-style-type: none"> 「あいさつ運動」の実施と「あいさつ週間」の設定により、あいさつの輪を広げていく。 保護者と連携したあいさつ運動や立番指導を実施する。 	4		<ul style="list-style-type: none"> 学期初めのPTA立番指導や月初めの学年毎による登校時の「あいさつ運動」、「あいさつ週間」での取組により、校内や地域でのあいさつの輪を広げることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 遠くからでも元気に地域の人へあいさつする小学生をよく見る。 アンケート結果を見ると将来の夢に関して児童の関心度に比べ、教員・保護者の感心度が低い。キャリア教育に関する授業を参観日に設けるなど、教員や保護者の意識を高めていく必要がある。
	生徒指導	2 定期的な教育相談による児童理解の充実	○ 児童理解に関するアンケートの達成度が80%以上	<ul style="list-style-type: none"> 定期的に教育相談週間を設け担任が個別の教育相談を行う。 「まごころ委員会」を定期的に実施し、共通理解を図る。 	3	4	<ul style="list-style-type: none"> 月1回の教育相談と「まごころ委員会」を通して、全職員で児童理解を図り、児童への指導に生かすことができた。 	
	思いやり・の責任感	3 友だちづくりによる思いやりの心の育成	○ 友だちに関するアンケートの達成度が80%以上	<ul style="list-style-type: none"> 特別の教科道徳や学級活動の時間等を中心に思いやりの心を育てる。 	4		<ul style="list-style-type: none"> 特別の教科道徳や学級活動での指導の充実を図るとともに「みんなで遊ぶ日」を設けたり外遊びを励行したりしたことで友だちを思いやる心が育ってきている。 	
		4 最後まで責任をもって取り組もうとする態度の育成	○ 責任に関するアンケートの達成度が80%以上	<ul style="list-style-type: none"> 無言でできぱきとした清掃活動に取り組ませる。 係や委員会等の毎日の活動に責任をもたせ取り組ませる。 	4		<ul style="list-style-type: none"> 清掃や委員会への取組を認めたり、教師も児童と一緒に掃除をしたりすることで、最後まで責任をもって取り組もうとする態度が育っている。 	

【重点目標】○ 粘り強さを育てる指導や健康・生活安全指導の充実						
体力づくり づくり り	1 体力向上プランの適切な実践と粘り強さを身に付けるながらの体力向上	○ 運動に親しむことに関するアンケートの達成度が80%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体育の時間における体づくり運動を推進する。 ・ 朝の体力アップや昼休み時間の外遊びの奨励で運動能力を高めていく。 	4	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新体力テストの結果をもとに、体力向上プランを作成し、体力向上へ向けて意識的に指導することができた。 ・ 持久走大会ではそれぞれが自分の記録に挑戦する姿が見られ、保護者や地域の方へ感動を与えることができた。
	2 安全な教育環境づくりと児童の生活安全意識の高揚	○ 毎月1回の安全点検の実施と年4回の避難訓練の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員による安全点検を毎月実施する。 ・ 風水害、不審者対応、地震、火災の避難訓練を実施する。 			<ul style="list-style-type: none"> ・ 每月1回安全点検を実施し、安全な教育環境づくりに努めることができた。 ・ 2年ぶりに風水害における児童引き渡し訓練を実施することができた。
	3 健康三原則（栄養・休養・運動）の指導の充実	○ 健康三原則に関するアンケートの達成度が80%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎月実施する「元気もりもりタイム」を充実させる。 ・ 高千穂町「メディア利用のルール」の家庭への啓発を図る。 ・ 学校保健委員会の在り方を見直し工夫する。 			<ul style="list-style-type: none"> ・ 「元気もりもりタイム」の時間に年間を通じて健康三原則に関する項目について指導を行うことができた。 ・ 高千穂町「メディア利用のルール」の指導と家庭への文書配付を行ったが、今後も周知徹底のため啓発活動を図る必要がある。

【重点目標】○ 家庭や地域社会との連携強化						
地域の中の学校づくり	1 地域人材の情報収集と活用	○ 地域学習に関するアンケートの達成度が80%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域人材の情報収集と地域調べの学習における地域人材活用を図る。 	3	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 参観日に地域人材を活用した「ふれあい学習」を新たに計画・実施し、多くの学びを得ることができた。 ・ コロナ感染症対策を講じながら、地域へ出て、校外学習を行うことができた。
	2 学校参観や各種便り、ホームページによる情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業参観・懇談参加率が80%以上 ○ 各種便りの定期的発行とホームページの更新 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日程や懇談の内容を工夫し、参観しやすい雰囲気作りを行う。 ・ 各種便りの定期的な発行とホームページの更新に務める。 			<ul style="list-style-type: none"> ・ 参観・懇談率が94%と高く、本校の教育活動に対する関心の高さが窺える。 ・ 月1回の学校だよりやホームページの更新等で情報発信することができた。
	3 地域社会との積極的な交流	○ 地域行事等への参加に関するアンケートの達成度が80%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園や幼稚園との連携事業を計画的に実施する。 ・ 地域の各種行事等に積極的に参加し、地域に交わる。 			<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園等との交流はできなかった。 ・ 地域の高齢者にお便りを出したり、天岩戸神社の行事に参加したりできた。 ・ 地域の祭りや夜神楽に参加できた。

【次年度の方向性についての校長所見】

学習の基礎となる力を定着させ、これからを生きる力を身に付けさせるために、家庭・地域との協働による学校作りを進めるという学校経営ビジョンのもと、保護者や地域の方々の協力を得ながら、四つの重点目標（知づくり、生活づくり・心づくり、体づくり、地域の中の学校づくり）の達成を目指し、本校の教育の推進と全職員の学校経営への積極的な参画を図ってきた。本年度は、コロナ感染の落ち着きと感染症対策、保護者や地域の方々のご理解・ご協力のもと、ほとんどの活動を規模縮小で実施することができた。

来年度もコロナ禍は続くであろうが、保護者や地域の方々の協力を得ながら、本校の教育目標「自ら考え、正しく判断し、豊かな人間性をもち、たくましく生きる児童の育成」の具現化を目指し、教員の資質向上を図りつつ、地域との協働による教育活動に取り組み、健全な岩戸っ子を育む教育を推進したい。